

ほ ゆ う

会報 85号

平成 13 年(2001) 7 月例会時発行
〒277-0835 柏市松ヶ崎 1194-222

北総歩こう会事務局

Tel 090-3345-8750

6 月例会 「白井から印西へ」を担当して

コースリーダー 友野 孫治



6 月 10 日曇り後晴れ 白井町から市になって 2 ヶ月、その白井から千葉ニュータウンまで歩く。この日は大勢の参加者が西白井駅から歩いて 3 分のところにある七次第一公園に集合。

朝の挨拶、コース説明、体操をして出発。梨のブランデー工場までの途中、競馬学校、長楽寺木造阿弥陀如来立像を見学、一路梨ブランデー工場目指して農道、梨畑の中で森林浴をしながら工場に到着。ここで昼食と見学をしましたが人数が多くて時間制、人数制として大変でした。

昼食後運動公園、田舎道を歩き、ゴールのニュータウンを目指す。

こ
めに何度も下見をして、どの道を使ったら一番良
して歩きました。車の少
触の味わえる道など、足
いようなコースにしてみ
最初の所と違う場所にし
うが良いかと思ったから
212 名と聞きました。参
員の協力で無事に終わる
難う御座いました。



のコースを作るた
梨畑の中、森の中、
いか考えながら探
ないところ、土の感
に負担のかからな
ました。解散場所が
たのは、駅に近いほ
です。参加人数は
加者の皆さんと役
事が出来ました。有

金メダル受賞までの道のり

我孫子市布佐在住 鈴木 敦三

今年 5 月の第 10 回若狭・三方五湖ツーデーマーチに参加して、念願の JML 金メダルを受賞しました。奇しくも北総歩役員の森さんとご一緒でき、心強い限りでした。何うと森さんも今回で金メダル受賞とか、二重の喜びで 30 度を越す猛暑の中、三方五湖の清風を浴びながら終始楽しく歩くことが出来ました。

そもそも私がウォーキングに興味を持ち始めたのは、1995 年当時、血糖値が 120 超と高く、糖尿病予備軍と診断された為でした。その頃から野菜を中心とした食事や、飲酒減量と 1 日約 6~7 キロのウォークを雨天を除き励行した結果、今では体重も減り血糖値も以前に比べて大分低下してきました。

始めは我が家を中心としたウォークでしたが、北総歩の会員になってからは、同会主催の諸行事を皮切りに 1996 年に初めて東松山の『日本スリーデーマーチ』に参加して JML の存在を知りました。それから 5 年半の間に、沖縄でマスター・飯田でスーパーと受賞してやっと三方五湖での金メダルまで漕ぎ着けた次第です。 ——2 ページ下方に続く——

ふあみりーウォーク

誰でも自由に参加できますが、参加費（100円）を戴きます。およそ2時間程度（約6～8km）のウォーキングをのんびりと楽しみながら、コース途中では皆様の参考になればと「ウォーキング教室」も開催します。ぜひ一度、お友達と誘い合わせてお出かけ下さい。

※この行事に参加する場合、事前の申し込み(連絡)等の必要はありません。

「ふあみりーウォーク」の集合時間は、毎回午前9時00分です。

集合時間が出発時間ともなりますので、遅れない様にご注意ください。

☆8月18日（土） 戸定館から松戸宿を歩く 約7km（担当・小林 直之）

集合・出発：JR 常磐線松戸駅東口 解散：JR 常磐線松戸駅西口

☆9月15日（土） 今も残る沼南の自然と史跡巡り 約8km（担当・小林 直之）

集合・出発：JR 成田線新木駅 解散：手賀の丘公園（お帰りの方法は手賀農協前バス停留所からバスで柏駅東口またはJR 成田線湖北駅まで歩く）

☆10月20日（土） 年一回お弁当食べて1日コース 約12km（担当・菊池 靖）

集合・出発：JR 武蔵野線新松戸駅 解散：JR 東武東上線川越駅

★開催日には、下車駅の改札口付近で担当役員がご案内を致します。

安心してお出かけください。

※問い合わせ先 0471-84-4353（菊池 靖）19時～20時のみ

—1 ページからの続き—

全国各地の大会に参加しての感想は、それぞれ目的は違うものの、歩く事の素晴らしさを共有される皆様のなんと多い事か。ご夫婦で助け合いながら仲良く歩かれる微笑ましい姿のなんと多い事か。それに加えて遠くからの参加者に声を掛けられて、歩友になる機会の多いことも新たな発見でした。

それから私の関心事の一つは、宿泊を伴う大会での宿の良し悪しです。三方五湖での民宿サ-

ービスは、JML 開催地随一と思います
が、「ほゆう」6月号に寄稿された松戸の合田さんのユースホステルの記事はとて参考になりました。私もユースは利用しますが、瀬戸内・倉敷大会では倉敷ユースが中央会場にも近く、食事もまずまずでお薦めです。その他、私は JML 大会の他の開催地から参加している方達から、めぼしい宿をいろいろ聞き出してリストにしています。大切なお金は有効に使いたいですからネ。



2. 信号で、あわてず あせらず 待つ余裕

例 会 の 案 内 板

☆ 8月例会 運河&星空 W (ミニナイト)

理窓会記念自然公園・東京理科大学構内に散策が出来るように、池の周りに小道が作られている。風景を巧みに利用した素晴らしい公園があります。
さらに理科大・霊波之光をとおり東武野田線に平行する道を瑞季の街へ。途中でトントン橋（歩行者専用では日本一長い木の橋）を渡りみずき公園へ。みずき公園では（晴天なら）星空観測をし、青春の頃を思い出して星空の歌でも唄いましょう。

*開 催 日：平成13年8月11日(土) 10km

*集合場所：東武鉄道野田線運河駅（改札口より案内があります）

*集合時間：午後4時30分 （懐中電灯を各自忘れずに持参の事）

*解 散：同じ運河駅午後8時頃

(例会リーダー 後藤 章)

☆ 9月例会 向島百花園の萩

毎年恒例の花シリーズ。今年は百花園の30mの萩のトンネルで初秋を味わいます。大横川親水公園、白髭神社、桜餅の長命寺、「大根」「巾着」の絵馬も可愛い待乳山聖天等を巡り、噴水の野野公園に着きます。百花園入園料一般120円
(65才以上は無料ですが年齢を証明できるものがが必要です)

*開 催 日：平成13年9月16日(日) 13km

*集合場所：JR 錦糸町駅西口（改札口より案内があります）

*集合時間：午前9時00分

*解 散：上野公園14:30頃

(例会リーダー 岡崎 千代子)

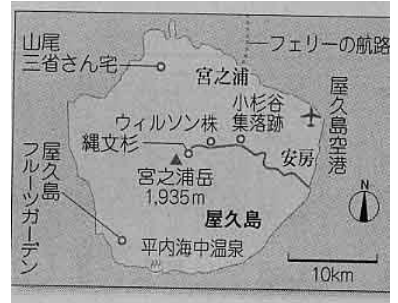
※例会行事問合せ先 047-367-7556 森 禎之 19時~20時のみ



屋久島ツーデーマーチに参加して 柏市在住役員 加藤 洋子

とうとう、念願かなって「屋久島ツーデーマーチ」に参加する事が出来ました。1993年に日本初の世界遺産に登録された屋久島です。南の海上に浮かぶ標高差の大きいこの島は、30以上もの高山が連なり、島の75%が山岳地帯に覆われているといわれています。1週間のうち5日は雨と聞いていたので、雨具もバッチリで出かけました。北総歩からは私と高桑三郎、関久美子さんの3名で参加しました。屋久島空港に降り立った3名は、五月晴れの島内をバスで屋久杉ランド、トローキの滝など観光して歩きました。 — 4ページへ続く —

5/12 (土) ツーデーの1日目も素晴らしい晴天、私はやっぱり晴れ女だ！ 会場に着くなり鹿児島テレビのインタビューに、マイクとカメラを向けられてしまった。少し気取って「千葉県の柏市から来ました。今日は35キロ歩きます。等々」。宮之浦港のそばの会場をスタートした我々は、景色の素晴らしさに歓声の声をあげながら、種子島、口永良部島、など周辺の島々を眺めながら、日本一の海亀の産卵地で有名な、松林と白砂の美しい永田いなか浜を抜け、長い35キロを無事ゴール。その夜はレセプションで、地元の方々の熱い歓迎を受けて感激でした。



そして2日目も晴天で、待ちに待った屋久杉の原生林、白谷雲水峡への15キロコースです。ここは「もののけ姫」のモデルになった原生林で、豊富な雨量が育んだ緑深い苔むした森や、美しい溪谷が神秘的で、幻想的な世界に入りこんだような気分でした。樹齢何千年もの屋久杉の生命力に満ちたその姿は改めて、屋久島の歴史の深さを感じるものでした。屋久猿や屋久鹿に出会える、そんな世界遺産の島に感謝々々。

つれづれなるままに ②

茨城県利根町在住 林 義治

「春宵一刻値千金・春雨だ、濡れて行こう」の古語はいずれも若き頃、飲み屋帰りにつぶやいたセリフで、遠く過ぎ去ろうとしている青春時代、札幌を春雨に打たれながら歩いた頃の事を思い出す。今頃はライラックの花が強い香りを放ち、気持ち良く歩けたものだが等々と…

同じ花でも、我が庭の花はさっぱり匂いは無い。手入れの悪さか、風土の適否かが解らない。今年も東京スリーデーが通り過ぎて行った。JML 大会会場では、必ずと言って良いほど集まるメンバーで、酒も強いが足も強い連中だ。年々衰退を辿る一方の我が身にとり、何時まで彼等に伍して歩けるかが気になる処でもある。脚力保持に努め、来年もまたと、念じつつ。

つれづれなるままに ③

茨城県利根町在住 林 義治

アジサイの花が雨に映えて一段と美しくなる。各地に散在する名高いアジサイ寺を混雑覚悟で出掛けてみると、神社仏閣には良く似合う花だなど思う。

「鎌倉花めぐり・婦人画報社」を片手に古寺めぐりをすると、時代を感じさせる名園が多い。また、野山に纏まって咲く花も大変美しい。数の多さでは、麻綿原高原（房総）の約20万株の花が全国屈指の名所で、季節毎に出掛けたくなる所の一つであるが少々遠いのと、山登りを伴うのでなかなか行けないでいる。

11年前、九十九里ナイトウォークの帰途、外房線大原駅でいすみ鉄道に向かう歩友二人と別れ、ひとり安房天津駅から麻綿原高原を目指した時の事を思い出す。猛烈な暑さに苦しみながら山登りを続け、目的地手前の清澄寺でダウン。前夜、寝ずに歩いた翌日の事とて疲労困憊、折り返してしまった出来事を懐かしむようになってしまった。

<編集後記>

夜明けが早く早朝歩きは気持ち良いが、今年は梅雨が無く、いきなり夏が来た。林様から頂いた原稿が、紙面の都合で1ヶ月遅れとなってしまう、今回まとめて掲載させていただいた。早速、車で妻と麻綿原高原へアジサイを見に行ってきた。山頂の日蓮聖人のお堂のすぐ側のコンクリートで出来た防火用水の真上に、ソフトボール大のモリアオガエルの卵が2つ、立ち木に着いていた。アジサイの花より感動した。無事に生まれて下の水に落ちよと。 一歩遊人—

編集担当 和田 武年 〒270-0121 流山市西初石6-187-43

Fax 0471-54-0170 & Eメール moon@mail.wics.ne.jp 常時
Tel 090-9298-3794 18:00~21:00 受付

ほゆう川柳コーナー 泉 狂歩

岬越え シベリア風が 横殴り

御覧あれ 雪の大佐渡 濤の舞

地吹雪を 蹴飛ばし進む 佐渡歩行

雪烏帽子 翁媪の 夫婦岩

一月の佐渡島一周に参加して